

～競争から共創へ～ 輸送サービス連携の取組について

2023年2月17日

西日本鉄道(株) ・ 九州旅客鉄道(株)

■目次

1. 背景
2. 連携に至るまでの経緯
3. 競争から共創へ
4. 取り組み事例
5. 取り組みの拡がり
6. まとめ

■JR九州×西鉄「輸送サービス連携に関する覚書」

- 2019年10月23日 2社は「輸送サービスにおける連携に関する覚書」を締結
- 長年のライバルであった2社の連携は、地域に、そして業界に驚きをもって捉えられた。

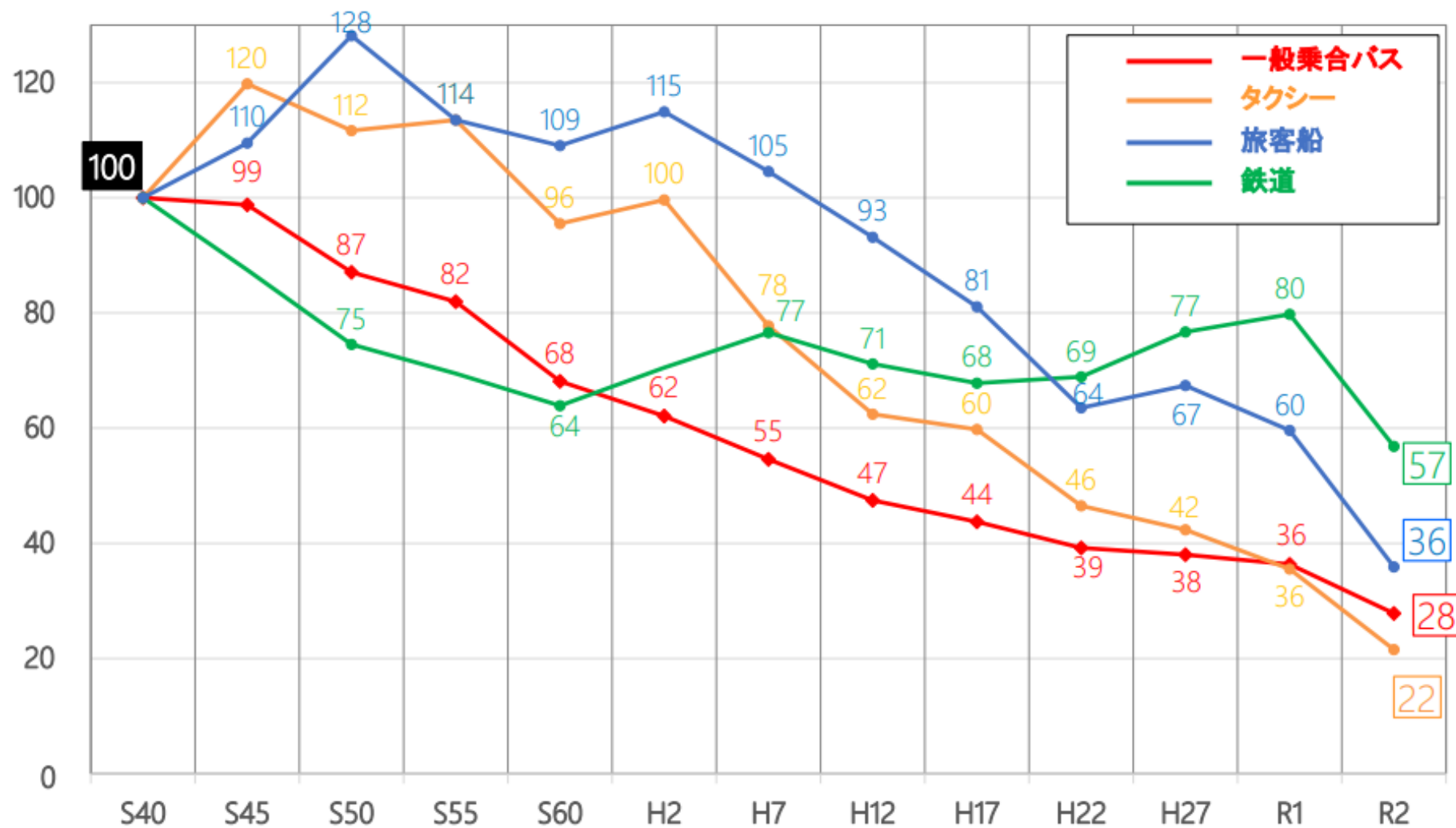


2社はなぜ連携することになったのか
その背景と取り組みについてご説明いたします。

背景

九州の交通を取り巻く環境

● 九州における公共交通利用者は、全てのモードで**右肩下がり**。



出典:九州運輸局

■九州の交通を取り巻く環境

- 人口減少と高齢化により、**移動需要のみならずサービスの担い手も減少**が続く。
- 「人の移動」と密接に関係する**社会課題も顕在化**。地域交通ネットワークの維持は喫緊の課題。

高齢化率
29%

2020年総務省
九州地区65才以上人口

免許返納者数
3万5千人

2020年警察庁 九州地区
75歳以上の申請取消件数

買物困難者
100万人

2015年農林水産政策研究所
九州7県

赤字バス会社
100%

2020年国土交通省
30台以上保有する九州のバス会社

有効求人倍率
2.33%

2022年12月 福岡労働局
自動車運転の職業

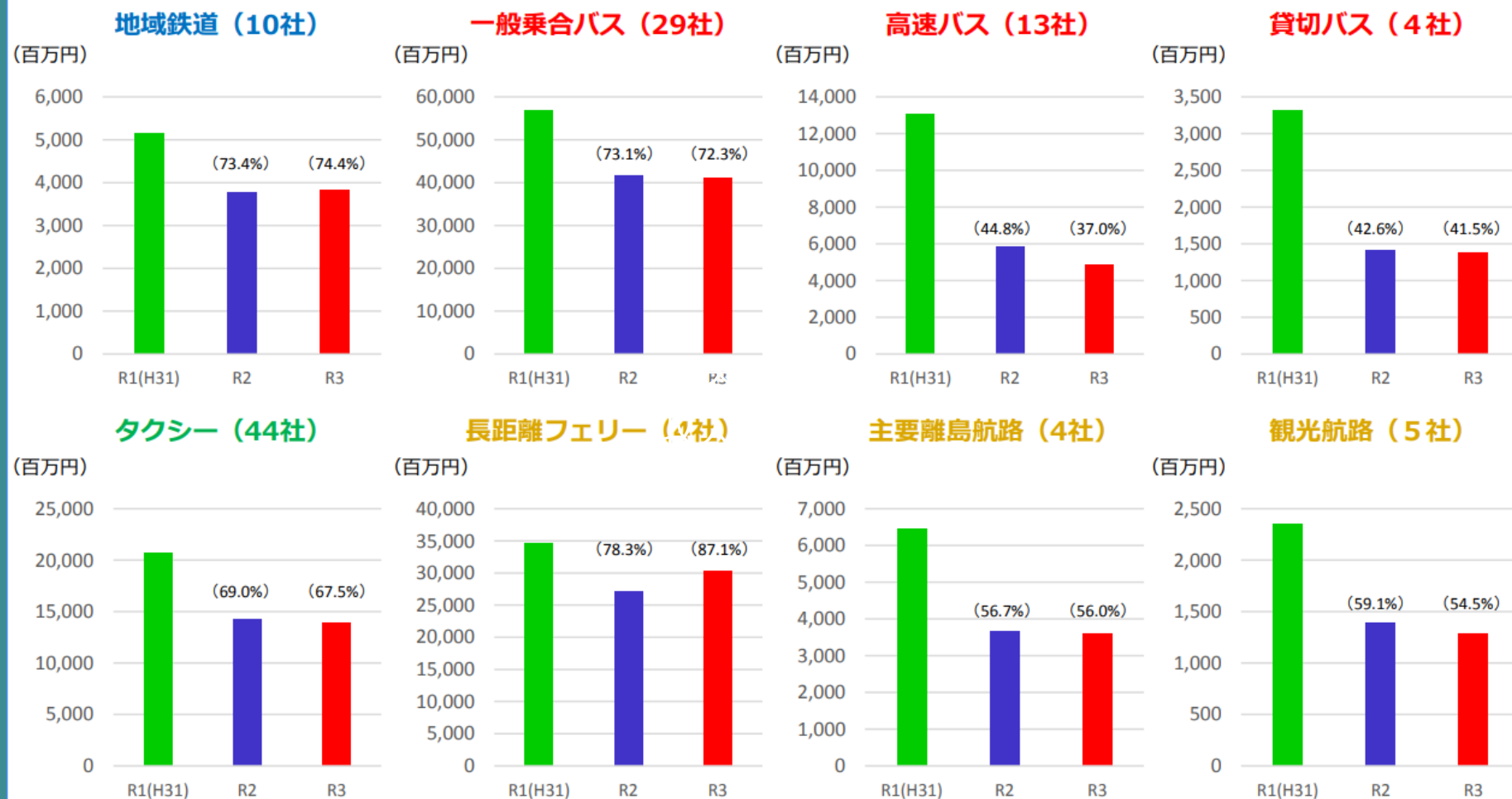
買物困難者割合
28.4%

九州7県平均
65才以上人口に占める
買い物困難者の比率

■九州の交通を取り巻く環境

- 九州における公共交通事業者の収益力は、COVID-19の影響により更に大きく低下。

運送収入



※ 各モードのサンプル数は、H31.1月～R3.12月の全ての月で実績がある事業者の数。※ グラフ上のカッコ内は、R1(H31)の年間運送収入に対する各年の年間運送収入の割合。

出典：九州運輸局

■デジタルによるモビリティの変革

- CASE、所有から利用への転換、プラットフォーマーの地位争い、スマホを介したサービスの拡充。
- モビリティの世界にも、**デジタル化・DXによるビジネスモデルの変革の波**が押し寄せている。

ハード(クルマ)のデジタル化
インターネット接続(コネクテッドカー)
自動化・電動化・移動データの収集



所有から利用へ
個人の移動のニーズを満たす新しいモビリティサービス
カーシェア・シェアサイクル・配車アプリ



新しいモビリティ
≡



NETFLIX



プラットフォーマーを目指す動き
Google/Softbank/トヨタ...
移動データを活用した新たなビジネスチャンス



スマホによるサービスの変革
モビリティの検索・決済・予約・利用のデジタル化が進展
AIデマンドバス・マルチモーダル検索アプリ

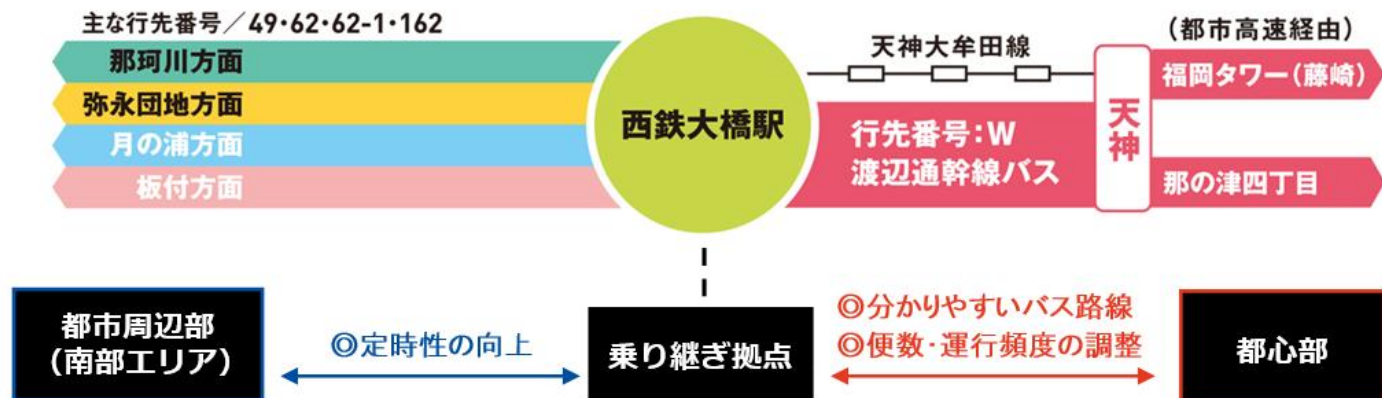


連携に至るまでの経緯

■連携までの西鉄の取り組み

- デジタルを活用した新たな交通ネットワークづくりの取り組みを推進

西鉄大橋駅での乗り継ぎ施策の実施（2013.10～）



マルチモーダルモビリティサービス「my route」の開始(2018.11～)



都心循環BRTの形成に向けた連節バスの運行(2016.7～)



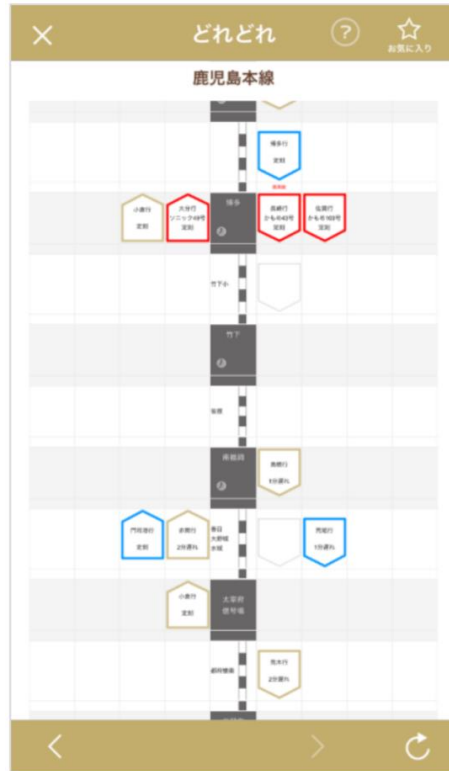
AI活用型オンデマンドバス「のるーと」の運行(2019.4～)



■連携までのJR九州の取り組み

- デジタルの活用、新技術による利便性向上、持続可能性の向上に向けた取り組みを推進

運行情報提供サービス(「どれどれ」)
「JR九州アプリ」内で、列車位置情報を提供



技術革新と環境への配慮(「DENCHA」)
国内初の交流電化方式の架線式蓄電池電車を開発
自動運転技術の実証も開始



■輸送サービス連携締結までの経緯

2016 世界初のMaaSアプリ「Whim(ウィム)」フィンランドでサービス開始

その後、交通事業者・自動車メーカー・不動産・・・など、幅広い業界、官民、様々な形でMaaSが注目され始める



2018.11

MaaSアプリ「my route」
実証実験開始



2019.4

アイランドシティで「のるーと」
運行開始



2018

2018.秋

次期中期経営計画策定・MaaSの検討着手
モビリティ関連のベンチャーなど手当たり次第に接触



2019

2019.3

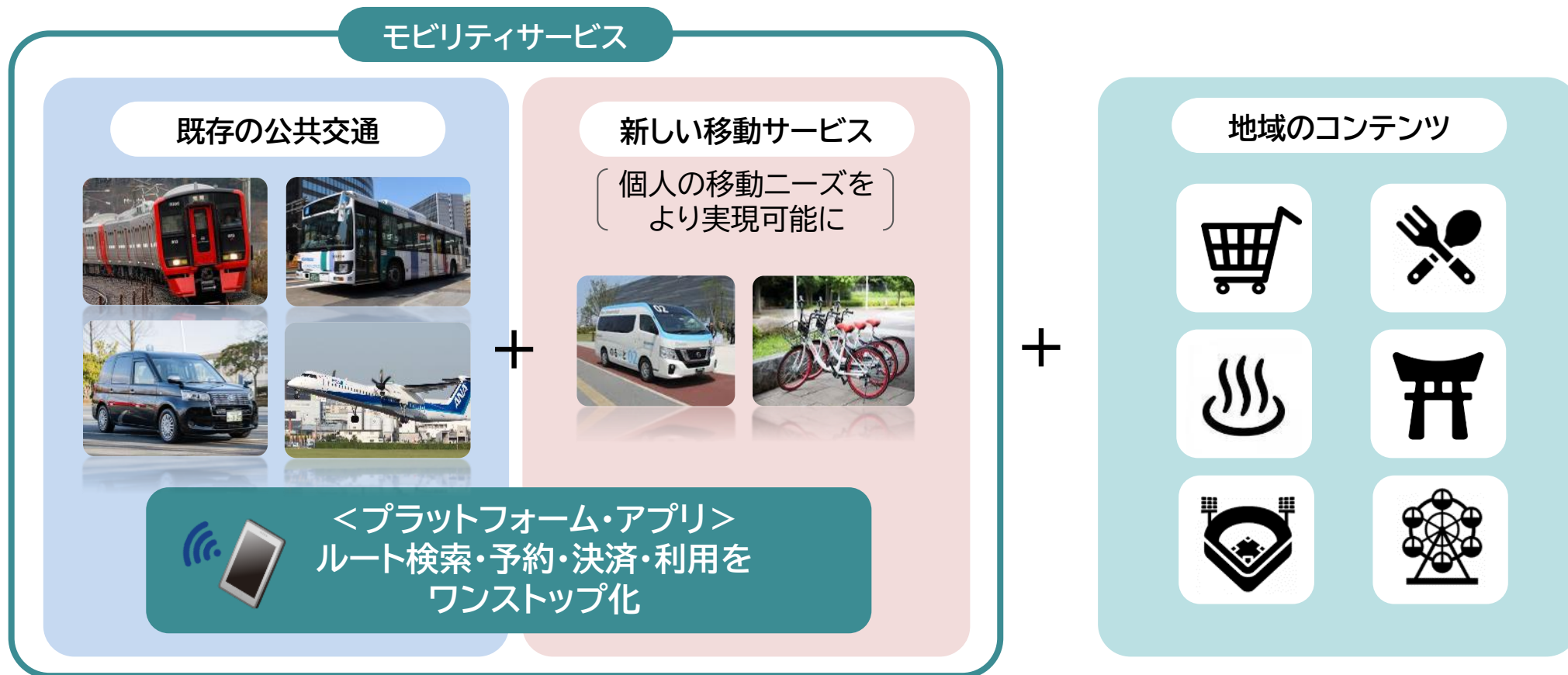
中期経営計画2019-2021 発表
「新たなモビリティサービス(MaaS)への挑戦」を明記

両社それぞれで
モビリティサービス・MaaSを意識した取り組みを始める

■デジタルによるモビリティの革新 ～MaaS～

- 既存公共交通の連携に、デジタル活用による新しい移動サービスを合わせて、モビリティサービスを捉える。
- モビリティサービスと地域のコンテンツとの融合により、移動需要の創出と地域の活性化に寄与できる。

MaaS=Mobility as a Service 「移動の全てをひとつのサービスに！」



■地域交通のリデザインとモビリティサービス・MaaS

- 地域交通が苦難に直面する中、MaaSの概念が登場したことは大転換・再構築の契機。
- MaaSを用い、持続可能な地域交通ネットワークの構築と地域経済の活性化、住み続けられる地域づくりに貢献。
- 観光振興の観点からも、地域交通の維持・利便性の向上は重要な命題。

厳しい地域交通の現状



競争

- ・少子・高齢化によるご利用減で減便・廃止が加速
- ・支える労働力も不足
- ・競争が成立しないマーケットで競争
- ・コロナ禍で更に危機的状況に



モビリティサービス・MaaS



- ・様々な交通サービスが連携した地域交通ネットワークづくり
- ・地域コンテンツと連携した移動需要創出（観光・生活サービス・行政・商業など）

MaaSアプリの導入が目的・ゴールではない

■モビリティサービス・MaaSの実現に必要なもの

シームレスなモビリティサービス = **交通事業者がつながること**

1社のサービス・狭いエリアでは成立しない

地域のコンテンツとの融合 = **業種を超えた様々なプレイヤーとの連携**

交通事業者だけの取り組みではない

リソースの確保 = **持続可能なスキームづくり**

「導入して終わり」ではない

開発・維持し続けるための「ヒト・モノ・カネ」が必要

交通は「民間事業」で収支も重要

交通事業者1社の取り組みでは実現不可能
交通事業者・地域が一体となった連携が重要

■西鉄 vs JR九州【鉄道運輸収入の推移(単位:億円)】

新駅開業 38駅
新車投入
列車増発

1988 ハイパーサルーン



1989 ゆふいんの森



1990 811系



1992 つばめ



列車増発
高速化
割引きっぷ投入

1995ソニックにちりん



2000白いかもめ



高速道路の延伸

1990 長崎道全通
1995 九州道
鹿児島まで全通
1996 大分道全通
1999 福岡都市高速と
九州道が接続

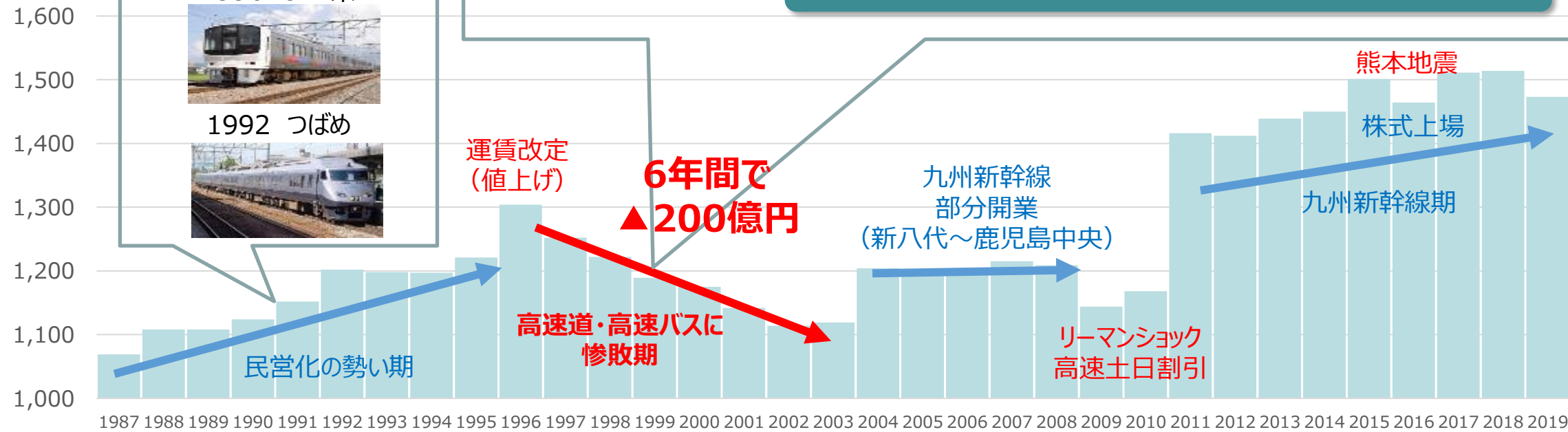
高速バスの攻勢・成長



スピードアップと定時性向上
路線拡大・増便

2000
福岡～北九州1000円など、1000
円・1500円高速バス登場
グランドパス65発売

鉄道vsバス＝強力な「商売敵」



■輸送サービス連携締結までの経緯

2016 世界初のMaaSアプリ「Whim(ウィム)」フィンランドでサービス開始

その後、交通事業者・自動車メーカー・不動産・・・など、幅広い業界、官民、様々な形でMaaSが注目され始める



2018.11

MaaSアプリ「my route」
実証実験開始



2019.4

アイランドシティで「のるーと」
運行開始



2018

2018.秋

次期中期経営計画策定・MaaSの検討着手
モビリティ関連のベンチャーなど手当たり次第に接触



2019

2019.3

中期経営計画2019-2021 発表
「新たなモビリティサービス(MaaS)への挑戦」を明記

両社でモビリティサービス・MaaSを意識した取り組みを始めるが

当時は**2社バラバラ**の取り組み

お客さま、地域にとってそれが望ましいことなのか？

■輸送サービス連携締結までの経緯

2019.4.26 両社担当課長級で意見交換 両社で一緒に取り組むことで意気投合

2019. 6. 6 両社担当役員の顔合わせ懇親会 @某社MaaS視察イベント in 伊豆

2019. 8. 10 JR九州の役員勉強会に、西鉄の担当課長を招きプレゼンしてもらうという前代未聞の取り組み

・・・などなど、連携の実現に向けた数々の転機を経て、意思決定を深度化

両社上層部へとエスカレーションしていく中で上がってきた声

交通事業の厳しい経営環境下において

取り組むべきは両社の輸送サービスを連携し、利便性と持続可能性を高めること

「MaaSは目的ではなく、ひとつの実現手段」と捉えるべき

当初、担当者は過去の両社の関係から「輸送サービスの連携」と書くことを躊躇
上層部からそういう声が上がったことに驚きつつ、その方向に一気に走り出す

■輸送サービス連携協定締結までの経緯

2019.10.23 「輸送サービス連携に関する覚書」締結 報道発表

- 「MaaSの連携」ではなく、更に幅広い「**輸送サービス連携**」覚書を締結

MaaS分野での連携

- ・両社が連携したMaaSアプリによる新たなサービスを提供

公共交通のご利用促進につながる**輸送サービスの提供**

- ・モードの役割分担(幹線・支線)
- ・結節機能の向上
- ・乗り継ぎダイヤの調整や新サービスの検討
- ・運行情報の相互表示、案内強化

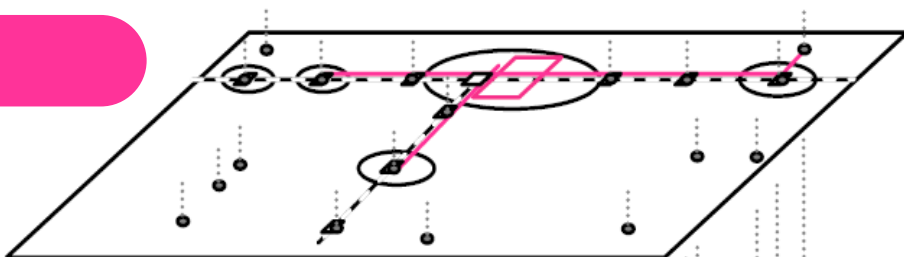
公共交通の利便性を向上させるための**新しいテクノロジーを活用した輸送サービスの実現**

- ・新たな技術の活用に共同で取り組み、ソフト・ハード両面での利便性向上を図る

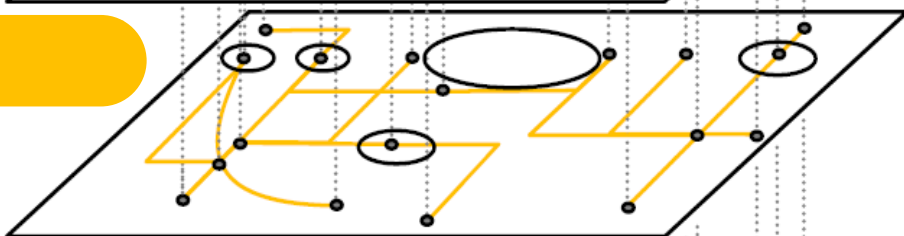
■今後あるべき交通ネットワークの方向性

- 交通ネットワークを階層的にとらえ、それぞれのプレイヤーが自らの得意分野で社会的役割を果たす。
- 多モード連携・階層型の交通ネットワークの構築により、地域におけるモビリティの維持・向上を図る。

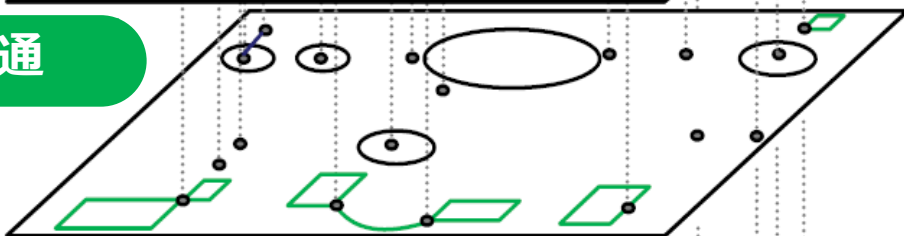
幹線



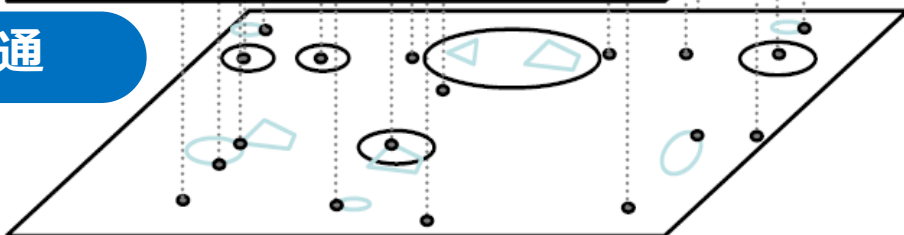
支線



地域交通



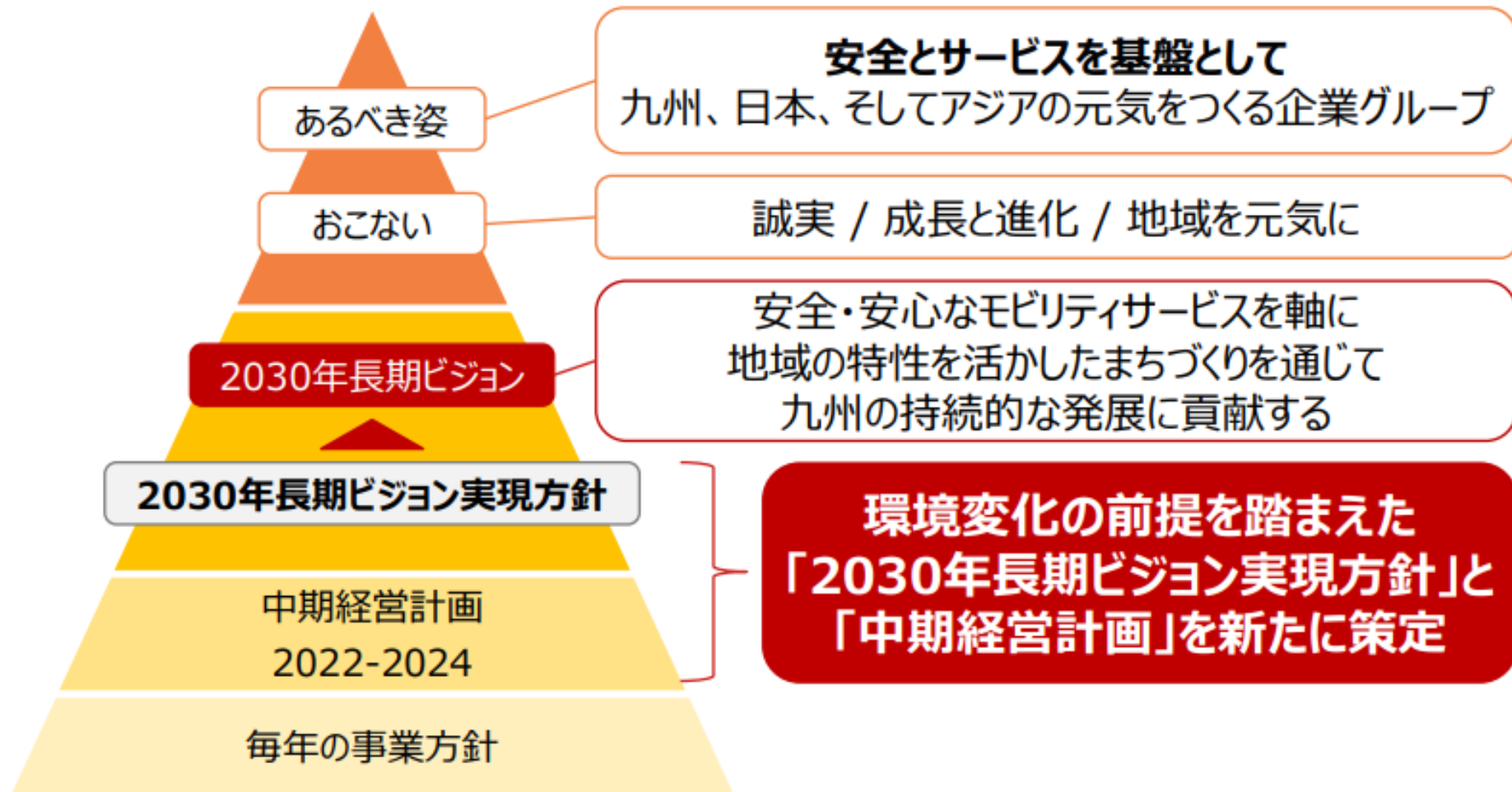
補完交通



競争から共創へ

■JR九州 中期経営計画2022-2024

当社グループ経営計画の体系



◆2030年長期ビジョン実現方針

方針①

価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり

方針②

九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

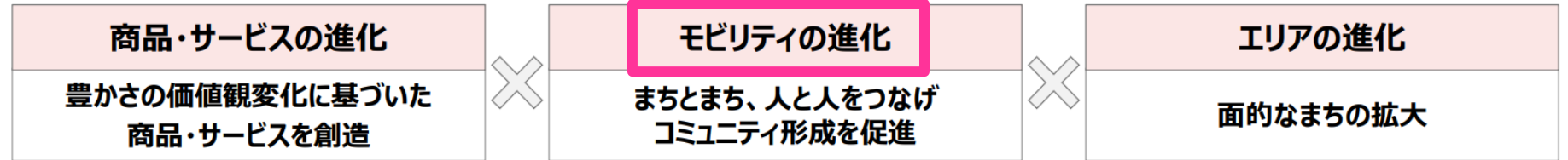


2. 2030年長期ビジョンと実現方針

方針①：“豊かな生活を実現する”まちづくり

2-1. 方針① | “豊かな生活を実現する”3つの進化

- 豊かな生活を実現するため、「商品・サービス」、「モビリティ」、「エリア」の進化を目指す。



- デジタル技術の進展を踏まえたモビリティサービスを軸に、まち同士の“つながり”を強化

- 進化した“つながり”により、お客さまとの接点や交流の場を拡大

- 自治体や他の事業者との連携強化により、マイカーを持たなくても便利に生活できる生活圏を拡大

■西鉄 長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」

基本理念

「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。

企業メッセージ

まちに、夢を描こう。
Connecting your dreams

まち夢ビジョン 2035

第16次～19次
中期経営計画

まち夢ビジョン2025

将来ビジョン2018

にしてつグループ まち夢ビジョン2035

こま
濃やかに、共に、創り支える
～ Grow in harmony with you ～

「居心地よい幸福感あふれる社会」への貢献

■西鉄 長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」

安全・あんしんで持続可能な次世代モビリティネットワークの実現

多様なパートナーと共創し、地域特性に応じた最適なモビリティサービスを提供。地域マーケットで培ったモビリティツール・ノウハウを積極的に他エリアへ展開。

POINT 地域特性に応じたシームレスな移動サービス(MaaS)の提供

- ・地域特性に応じた最適な交通ネットワークにカスタマイズ
- ・官・民・地域と連携したマネジメントにより、まちと暮らしを持続的に支える

地域モビリティ事業者間での連携



POINT 完全自動運転実現に向けた取り組みの加速



- ・一人ひとりの移動ニーズに応えるために、ラストワンマイルまでカバーできる交通ネットワークを構築

POINT 外部パートナーとのアライアンスで多様な移動ニーズへ対応

- ・多様化する移動へのニーズに応え、新しい価値・サービスを提供
- ・ストレスフリーな移動・楽しい移動を実現



ユニバーサル
デザイン対応型
旅客案内



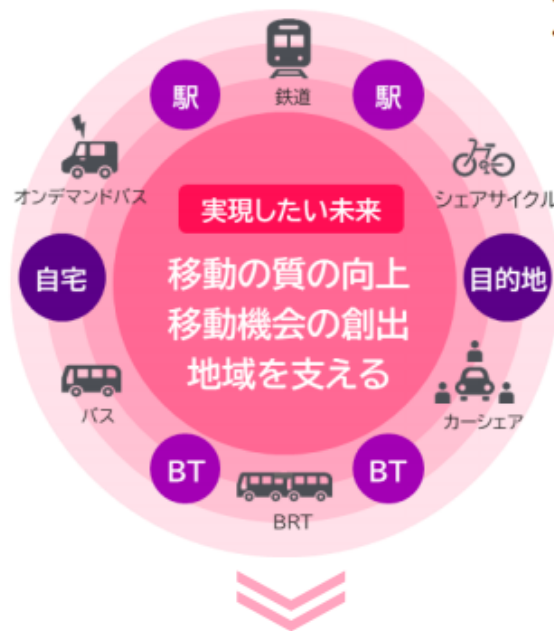
MaaSアプリで
ルートの一括
予約・決済



オンライン型
サブスクリプション



飲食店との融合



POINT EVバス等の車両の脱炭素化・カーボンニュートラルを加速

- ・EVバス・燃料電池・蓄電池車両等の推進による車両の脱炭素化
- ・モーダルシフトの推進
- ・エネルギーマネジメント



POINT 地域課題を解決するためのモビリティソリューションパッケージを他エリアへ展開

プロジェクトマネジメントサービス

運行計画作成から車両、決済手段の調達まで多様な業務をフルサポート



統合データ・リアルタイムデータ提供サービス

交通渋滞・道路計画・事故防止・外出支援等への活用



車両・施設等の“場所”を有効活用したサービス

物流事業者と協働し、人だけでなく、モノも運び・販売するサービス

取り組み事例

■JR九州・西鉄の輸送サービス連携（北九州市 JR下曾根駅 2020.3～）

- 従来は競争していたエリアで接続連携。バス路線のフィーダー化と系統新設、鉄道とのダイヤ調整を実施。
- 運行情報の相互提供やベンチ増設、サイン整備など乗継環境の向上も実施。

2020年3月14日より

小倉への通勤・通学、
お出かけが速くなる!!

西鉄と
JR九州の
連携事業

下曽根駅の電車とバスのお乗り継ぎが便利に!!

吉田園地、御生が丘、昭和池、下曽根駅、下曽根駅⇌小倉駅 約15分!、小倉駅

バス路線を新設・変更して、下曽根駅へのアクセスが、便利になります。

スムーズにお乗り換えいただくためサービスを拡充!

バスを乗りこえて下曽根駅からのJFE東港時刻の案内を実施	下曽根駅にバスの停泊スペースを、案内サインを設置	下曽根駅での乗り継ぎポイントキャンペーン実施(3/14~4/30) 期間中、下曽根駅にて西鉄バス上、JFEを同一日に乗り継いだお客さまへ200ポイント差し上げます。
下曽根駅にバスの運行状況をお知らせする「バスの接近案内表示」を設置	下曽根駅構内にバス待ち合い用のベンチを増設	

「バス」乗り継ぎポイントの付与内容

①「下曽根駅」駅外には「下曽根駅利用」JFEバスと「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。②「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。③「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。④「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑤「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑥「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑦「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑧「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑨「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑩「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑪「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑫「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑬「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑭「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑮「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑯「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑰「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑱「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑲「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。⑳「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉑「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉒「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉓「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉔「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉕「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉖「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉗「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉘「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉙「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉚「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉛「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉜「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉝「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉞「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㉟「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊱「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊲「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊳「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊴「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊵「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊶「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊷「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊸「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊹「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊺「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊻「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊼「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊽「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊾「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。㊿「下曽根駅」駅外には「下曽根駅」バス乗り継ぎポイント付与の案内表示を設置し、利用客の乗り継ぎを促す。

にしてつグループと九州旅客鉄道株式会社は、
贈送サービスの利便性向上に連携して取り組んでいます。

11:00 後自由券				11:00 後自由券				11:00 後自由券			
11:00 後自由券				11:00 後自由券				11:00 後自由券			
63	橋本田 橋本田	11:24 後自由券	95	田野寺 田野寺	11:40 後自由券						
49	JR門司駅 JR門司駅	11:25 後自由券	72	JR門司駅 JR門司駅	11:43 後自由券						
175	田野寺 田野寺	11:26 後自由券	49	JR門司駅 JR門司駅	11:40 後自由券						
70	田野寺 田野寺	11:26 後自由券	73	和田寺 和田寺	11:43 後自由券						
6	JR門司駅 JR門司駅	11:30 後自由券	84	和田寺 和田寺	11:49 後自由券						
平日(月・金) 運行時刻表											

時刻表		JR下曾根駅	現在時刻 10:31
小倉・門司港／下関方面			
行	先	発車時刻	
	小倉	10:42	
	小倉	11:05	
	小倉	11:24	
	小倉	11:41	
	小倉	12:05	



■JR九州・西鉄の輸送サービス連携（北九州市 JR戸畑駅 2022.2～）

- 両社の連携と資産の有効活用により輸送サービスの利便性向上・利用促進を目指す
- 乗車券販売窓口の隣接化や、バス待機場の拡充など、ハード面での鉄道・バスの結節機能強化を実施。



戸畑駅みどりの窓口内に
西鉄バス定期券発売所を設置



- ・北九州市により、戸畑駅ロータリー内のバス待機場拡張
- ・駅舎内に西鉄バス乗務員の待機・休憩スペースを新設

■AI活用型オンデマンドバス「のるーと」

- JR駅を拠点に、西鉄がAIオンデマンドバス「のるーと」を展開。連携して新しい地域交通の利用促進を目指す。

鉄道・路線バス



- ・定時定路線
- ・大量輸送が可能
- ・乗り合い

補完

地域の需要を
すくい取り、
幹線交通へと
つなぐ

のるーと



- ・AIが予約状況等に応じ
効率的なルートを生成
- ・需要に応じ**小型車両が**
きめ細やかに運行
- ・出発地や目的地の近く
で乗り降りできる
- ・乗り合い

一部の運行を
地元タクシー会社に委託

タクシー



- ・ドアtoドアの移動が可能
- ・乗りたいときに乗れる
- ・プライベートな乗車空間

すみ分け

急ぎの時や早朝
深夜の時間帯は
より利便性の高い
タクシーを利用



実績

JR千早駅⇄アイランドシティ
地下鉄橋本駅⇄壱岐南地区
JR東郷駅⇄日の里団地
JR古賀駅⇄ししぶ・花鶴丘地区
その他全国各地で導入

■MaaSアプリ「my route」

- 2018.11 西鉄とトヨタ自動車福岡市内において実証実験開始
- 2019.11 JR九州も参画し本格運用開始
- 両社とトヨタファイナンシャルサービスとの連携で、活用の推進と機能向上を図る



ルート検索、お出かけスポット、予約・決済も！

移動のあれこれ、これひとつ。

FREE! 無料

my route

最適ルート案内アプリ。 マイルート

bus train taxi share cycle walking my car shinkansen

gourmet sightseeing coupon

西鉄電車のデジタル乗車券 福岡(天神)⇄太宰府

西鉄バスのデジタル乗車券 スマ乗り放題

九州新幹線の予約・購入も myroute(マイルート)で簡単に！

ルート検索結果かららくらく予約！



おでかけアプリ「my route」の概要



- トヨタファイナンシャルサービス(株)が開発・提供するスマホアプリ。
- 2018年11月に西鉄がローンチカスタマーとなり、福岡にてサービス開始。
- 福岡、北九州、糸島、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、沖縄、横浜、富山、愛知でサービス展開。
- アプリダウンロード数 : 約41万ダウンロード(2023.1時点)。
- デジタルチケット販売数 : 30,000枚以上/月 ※MaaSアプリNo.1
- デジタルチケット取扱数 : 約80券種



おでかけ情報



myステーション

毎日利用する交通の情報を
一目で確認！

myチケット

すぐに使いたいチケット
クーポンに簡単アクセス！

おでかけメモ

今度行きたい！面白そう！
美味しそう！をURL・画像
など多様な方法で保存。

おでかけ情報

思わずおでかけしたくなる
周辺のグルメやイベントの
情報を紹介

地図で探す



ルート検索

シングルモーダルおよび、
マルチモーダルに対応。

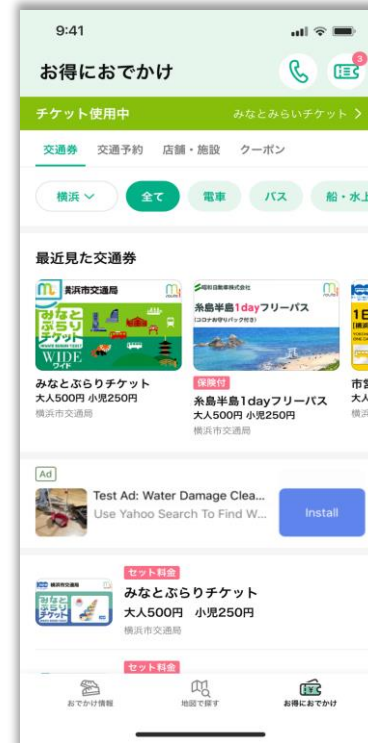
交通スポット検索

見知らぬ土地でも安心！
近くの交通スポットを探して
情報(時刻表・バスロケ・
予約導線)を確認。

施設検索

思い付いたとき、すぐに
周辺のグルメや体験施設が
を検索。

お得におでかけ



おでかけサービス 予約/利用

おでかけ先の交通や施設
チケットを予約・購入可能。



■乗車券＋観光パスのパッケージ化【北九州いってきまあ～すチケット】

- JR＋西鉄バス＋観光パスorタクシーチケットのセットチケット。
- 北九州市による観光パス無償提供により実現した限定企画。



JR九州 西小倉～門司港 [フリーきっぷ]	+	西鉄バス 北九州都市圏フリー [北九州市、中間市、行橋市、苅田町]	+	福岡県民 限定! 北九州魅力満喫パスポート or 第一交通タクシー タクシークーポン400円分 [北九州市、中間市、遠賀郡]
------------------------------------	---	--	---	--

通常価格1,960円(税込)が → **1,200円(税込)**

※JR九州の西小倉・門司港間を往復、および西鉄バス北九州都市圏1日フリー乗車券を利用した場合

北九州いってきまあ～すチケット

JRフリー区間
西小倉～門司港
Nishikokura ~ Mojiko

バスフリー区間
北九州都市圏
Kitakyushu area

特典
北九州魅力満喫パスポート or タクシークーポン

大人 小児
2名 2名

までご乗車可能です
あと 3時間32分16秒 降車可能

ご利用可能エリア 乗車券のご利用案内

降車の際または駅改札を通る際に、券面を駅係員または乗務員にはっきりと提示してください。

有効期限: ●●●●

× 閉じる

■乗車券＋お買物券のパッケージ化【天神・博多 乗レール買エールチケット】

- 都心部(天神・博多)への集客を目的とした、交通(3社)・商業(15施設)の連携チケット。
- 鉄道or高速バス+路線バス+3,000円分のお買物券がセットになった企画券。
- 最安区間であれば、お買物券と同額の3,000円で購入可能。
- 乗車券はスマホの目検、お買物券はQR読込による引換え(紙のお買物券)である。

**天神・博多へお得に
お買物に行きたい人必見!**

2022 9.15 [thu] → 11.30 [wed]

**天神・博多 乗レール
買エールチケット**

my routeで期間限定販売!

移動手段の検索・予約・決済まで一連の機能を全て備えた無料アプリ

**鉄道 or 高速バス
往復きっぷ**

**西鉄バス
乗り放題
天神⇄博多エリア**

**ショッピング
チケット
3,000円分**

最安 3,000円から購入可能! (大橋⇄天神/西鉄、香椎⇄博多/JR)



チケット

2022/10/11 22:02:47

西日本鉄道株

**天神・博多
乗レール買エールチケット**

大橋 ⇄ 福岡(天神)

大人 1名 小児 0名

までご利用可能です

2022年10月11日 最終までご利用可能

ご利用可能エリア ご利用案内

クーポン

SAMPLE

ショッピングチケット引換券

乗車券ご利用特典

ショッピングチケット引換クーポン

2022/10/11 まで利用可能

ご利用可能店舗 ご利用案内

利用

閉じる

■「my route」 QRコードデジタルチケット改札サービスの共同開発

- my routeのQRコードデジタルチケットを活用した改札通過サービスを共同で開発
- お客さまの利便性向上とデータの活用に取り組む
- 西鉄福岡天神駅にて、両社合同で報道発表を実施



■両社が協力したイベントの開催

- JR九州が主催する「JR九州ウォーキング」に、両社がタイアップしたコースを設定
- イベントによる鉄道・バスの利用促進に両社で協力して取り組む

北九州の交通事業に携わる4社が初のコラボレーション

駅長おすすめのJR九州

15th 北九州空港開港記念

STARFLYER

Nishitetsu Group

×

ウォーキング

14 福岡 10/9[土] | JR朽網駅 北九州空港開港15周年記念ウォーク! NEW

200万人達成記念+1

新北九州空港連絡橋

スタート 朽網駅

※9時より営業

地球の海(直売所)

新北九州空港連絡橋

格納庫飛行機外観見学

スターフライヤー

格納庫飛行機外観見学

北九州空港ターミナルビル

※朽網駅までは西鉄バス(有料)となります

ゴール

ウォーキング参加者限定で、スターフライヤーの格納庫と飛行機を間近で見学できる他、展望デッキでの足湯や西鉄バス「グランデイズ」の展示も行います! ※格納庫見学は当日の運航状況等によっては、見学いただけない場合があります。

えがお

ヘルシア 緑茶

■コース距離/約10km ■所要時間/約3時間 小倉駅 093-521-0052

〈スタート受付〉8:30~11:00 〈ゴール受付〉15:00まで 協力/北九州空港、スターフライヤー、西鉄バス北九州



2022年11月1日
九州旅客鉄道株式会社

今回限りの特典盛りだくさん!

「小倉城竹あかりと日本新三大夜景都市堪能ウォーク」を開催します!

小倉城竹あかりに合わせて、北九州市役所屋上展望室とチャチャタウン小倉の観覧車をウォーキング参加者に限り無料開放! 日本新三大夜景都市に全国1位で再認定された北九州市の夜景を満喫できます! また、小倉城竹あかり(有料)ではウォーキング参加者限定の特別入場ゲートから優先入場できます!

- 開催日 2022年11月5日(土)
- コース JR九州ウォーキング 2022年秋編
「小倉城竹あかりと日本新三大夜景都市堪能ウォーク」
- スタート駅 鹿児島本線 西小倉駅
- ゴール箇所 チャチャタウン小倉
- 受付時間 〈スタート受付時間〉17:15~19:00



■両社の鉄道がコラボしたツアーの実施

- 西鉄「Rail Kitchen Chikugo」・JR九州「A列車で行こう」がコラボレーション
- 大牟田市とも連携した旅行ツアーを実施し、地元経済にも貢献
- 両社旅行部門が連携した鉄道ファン向けツアー企画も登場



2020年7月29日
九州旅客鉄道株式会社
西日本鉄道株式会社

JR九州と西鉄の観光列車が初コラボ！

「A列車で行こう」と「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」

～炭都大牟田の近代化産業遺産を巡る旅～



A列車で行こう



THE RAIL KITCHEN CHIKUGO

九州旅客鉄道株式会社（以下「JR九州」）と西日本鉄道株式会社（以下「西鉄」）は、大牟田市と協力し、両社の観光列車「A列車で行こう」と「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」が初コラボした、1日限りの特別な大牟田日帰りツアーを実施します。GoTo トラベル事業の活用により、通常料金よりお得なツアーとなっております。

JR九州の「A列車で行こう」と西鉄の「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」は、沿線地域の魅力を発信することを目的として運行してまいりました。当ツアーは、両社の結節点であり、様々な近代化産業遺産が楽しめる大牟田市を盛り上げたいという共通の想いにより、実施に至りました。



News Release



2022年7月4日

JR九州×西鉄旅行コラボレーション企画

JR・西鉄通勤型電車の夢の共演！

昭和～平成～令和を駆け抜け、福岡の通勤・通学を支えた

JR415系×西鉄5000形乗車ツアー 発売のお知らせ

九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州）では、西鉄旅行株式会社（以下、西鉄旅行）と共同で「JR415系×西鉄5000形乗車ツアー」を発売します。

ツアーでは、福岡の通勤・通学を支えたJR九州の415系電車と西鉄5000形電車がそれぞれJR南福岡駅と西鉄福岡（天神）駅を出発し、大牟田駅へ同時刻に到着！復路も同時刻に発車いたします。その他、JR南福岡車両区と西鉄筑紫車両基地での見学会も実施いたします。またとない貴重な機会ですので、皆さまのお申し込みを心よりお待ちしております。



415系車両



南福岡車両区



筑紫車両基地

※写真は全てイメージです。

■社員間の交流 「WAKU WAKU HIRAMEKI PROJECT」

- 両社の若手社員25名が、会社・部署の枠を超えて、未来の事業モデルなどを議論
- 最終報告会で両社役員にプレゼンを実施



各班発表概要

チーム (発表順)	MTP (野心的な変革目標)	概要
A (1)	100億人にウェルビーイングを運ぶ	2040年、テクノロジーの発展により、「労働」の大部分をAI・ロボットが担う社会。人間は一定のテクノロジー・政策による管理・統制のもとで、人間にしかできない仕事をしたり自身の幸せを追求していく。その社会のことを、超効率化社会・超安心社会と定義します。この2040年の社会で暮らす全ての人が、それぞれに合った生き方を選び幸せに暮らせるように、西鉄・JR九州として2040年の社会に貢献できるビジネス※を考察します。(※ビッグデータや先端技術を活用し、移動すべてがシームレスに快適になるビジネス「スゴカボディ」、多様なコミュニティに自由に入出入りできる環境づくり等)
B (4)	彩とりどりの価値を	「わたしが、ゴッホに感動する日」～“シェアエモ”がある世界～ “シェアエモ”、それは「あなたの感情」をほかの人にシェアできる道具です。感情を共有することができるだけで、私たちはこれまでとは桁違いの情報量をもって相手とコミュニケーションすることが可能になります。言葉だけではうまく伝えられない感動・喜びなどを相手と一緒に分かち合うことが可能です。良い感情がいろいろな人に伝わり、また交流しながら発展し、様々な行動・価値創出に繋がっていきます。安全面、技術面、法整備・・・もちろんまだまだ乗り越えるべき課題もたくさんあります。しかしそれを乗り越えたとき、私たちはシェアエモがもたらす素晴らしい価値に気づくことでしょう。
C (2)	あなたの1を10に (位置を自由に)	2040年、人々の価値観は多様化し、自由を求めるニーズは拡大していく。一方で、少子高齢化や財政の悪化を受け、公共サービスの維持は困難を極める。包括的に人々を支えるまちの機能は低下の一途を辿り、自由を求めても、貧弱な都市基盤のもとでは諦めざるを得ない。そんな世界が到来するかもしれない。そのような世界において、人々が自由に暮らしていくにはどうすればよいのか。私たちが議論したのは、まちと人、双方の可能性を拡大させていく未来です。あなたの“1(位置)”を“10(自由)”に。好きな場所で、もっと自由な生き方を。まちと暮らしの新たなスタイルを提案します。
D (3)	人が人らしく生きる 世界に ～愛とライフスタイル が充実した社会に～	2040年、テクノロジーの発展とともに多くの社会課題が解決する一方、その過程で必要となった「効率化」を追求する中で、様々な体験や文化・コミュニティなど、失われるものも多く出てくることでしょう。「人が人らしく生きる」ために大切なことは何だろうか、たとえ効率化が進んだとしても「愛のある世界」とはどのような世界だろうか、様々な視点から「2040年の未来」についてチームで議論しました。「効率化」の名のもとで、大事な感性を失う事が無いように、新しい時代に合った形でのアイデアを提案し、「人が人らしく生きる愛のある2040年の世界」をお見せします。

取り組みの拡がり

■ 広がる交通事業者の「輸送サービス連携」

- 肝心の輸送サービスがつながっていなければMaaSも成立しない。
- 「輸送サービス連携」がMaaSの本質との理解のもと、交通事業者間の連携体制の構築を推進。
- 両社の枠組みに**第一交通産業も参画した3者の連携協定**も締結



2019.5	第一交通産業・JR九州
2019.10	西日本鉄道・JR九州
2021.9	宮崎交通・JR九州
2021.9	西日本鉄道・第一交通産業・JR九州
2022.3	九州産交バス・タクルー・JR九州

■九州内に拡がる「my route」のサービス

●両社が協力し、各エリアの交通事業者・行政との連携を推進して、サービスを九州各地に展開

■福岡県（糸島） 2021年2月～
Seed HD（福岡トヨタ・昭和自動車）

■福岡県
2018年11月 実証実験開始
2019年11月 本格実施開始
西鉄、JR九州、第一交通産業

■佐賀県 2022年1月～
西鉄・JR九州・Seed HD・祐徳自動車他

■大分県
2022年2月～ 由布院でサービススタート
亀の井バス、JR九州、西鉄、第一交通産業
2023年1月12日 エリア拡大（大分空港MaaS）
大分交通、大分バス

■長崎県 2022年8月～
長崎自動車、JR九州
長崎県交通局、西肥自動車、長崎電気軌道、
松浦鉄道、ラッキー自動車、西鉄他

■宮崎県 2020年11月～
宮崎交通、JR九州、西鉄

■熊本県 2023年1月28日～

2020年5月～ 水俣市
水俣MaaSプロジェクト実行委員会によりスタート
＜事務局：UTモビリティサービス（株）＞
**交通事業者が広く参画し
全域でサービススタート**
九州産交バス、JR九州、熊本市交通局、
UTモビリティサービス、Takuroo
肥薩おれんじ鉄道、熊本電鉄、熊本都市バス、西鉄他

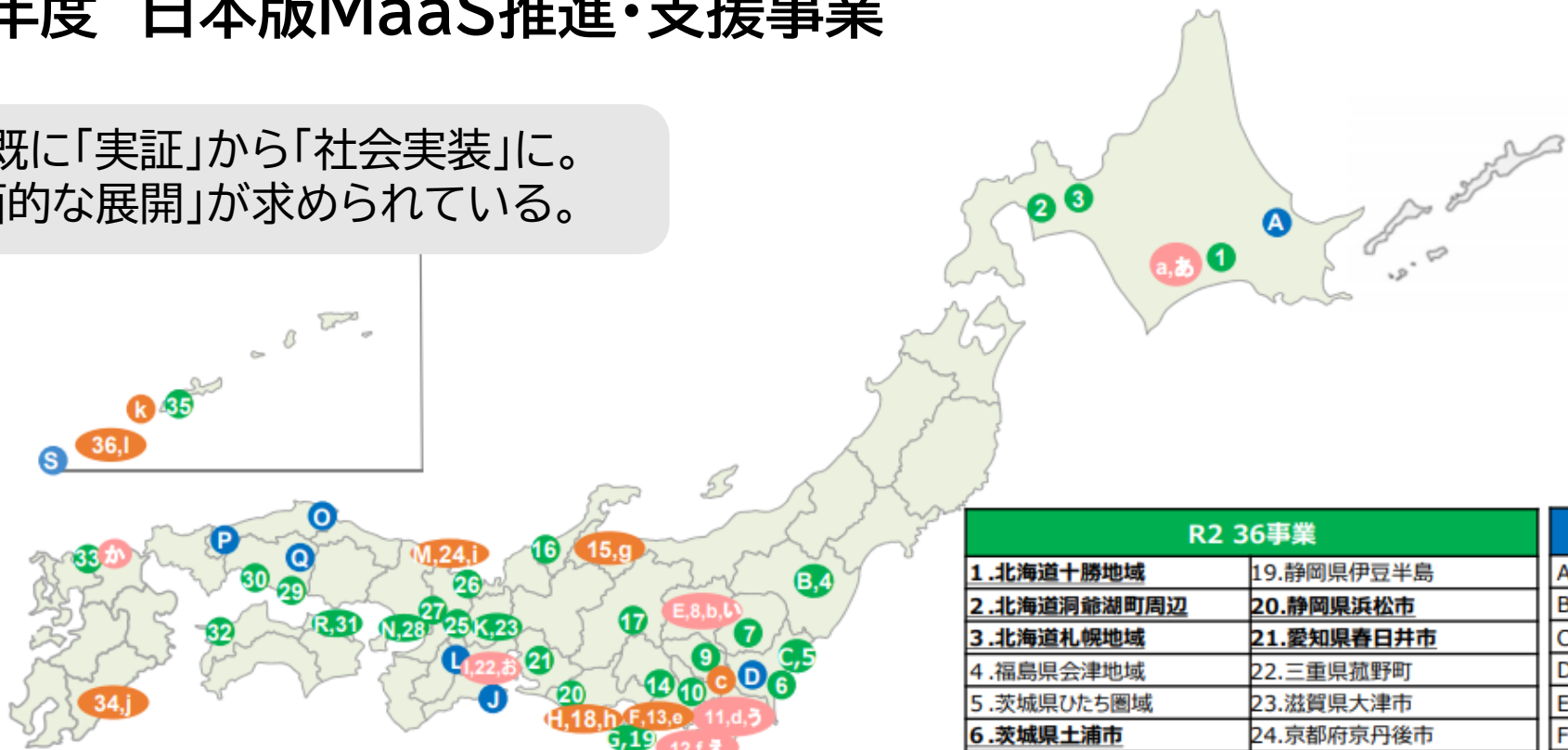
太字は委員長・副委員長会社

■沖縄県 2022年2月～
第一交通産業
（琉球バス交通、那覇バス、第一マリンサービス）
沖縄バス、東洋バス



令和4年度 日本版MaaS推進・支援事業

流れは既に「実証」から「社会実装」に。
更に「面的な展開」が求められている。



R4 6事業	
あ.北海道芽室町	
い.群馬県前橋市	
う.神奈川県横須賀市、他	
え.神奈川県三浦半島	
お.三重県菰野町	
か.九州全域	

R3 12事業	
a.北海道芽室町	g.富山県朝日町
b.群馬県前橋市	h.静岡県静岡市
c.東京都大丸有地区	i.京都府与謝野町
d.山手線周辺/横須賀市	j.宮崎県
e.川崎市、箱根町	k.沖縄県
f.神奈川県三浦半島	l.沖縄県宮古島市

※下線部3事業はR3年度新規

R2 36事業	
1.北海道十勝地域	19.静岡県伊豆半島
2.北海道洞爺湖町周辺	20.静岡県浜松市
3.北海道札幌地域	21.愛知県春日井市
4.福島県会津地域	22.三重県菰野町
5.茨城県ひたち園域	23.滋賀県大津市
6.茨城県土浦市	24.京都府京丹後市
7.栃木県宇都宮市	25.京都府京都市
8.群馬県前橋市	26.京都府舞鶴市
9.埼玉県三芳町	27.大阪府池田市
10.神奈川県横浜市周辺	28.兵庫県神戸市
11.神奈川県横須賀市周辺	29.広島県福山市
12.神奈川県三浦半島	30.広島県広島市
13.神奈川県川崎市	31.香川県高松市
14.神奈川県南足柄市	32.愛媛県南予地域・松山市
15.富山県朝日町	33.福岡県糸島市
16.石川県加賀市	34.宮崎県宮崎市・日南市
17.長野県茅野市	35.沖縄県全域
18.静岡県静岡市	36.沖縄県宮古島市

※下線部25事業はR2年度新規

R1 19事業	
A.ひがし北海道エリア	
B.福島県会津若松市	
C.茨城県日立市	
D.茨城県つくば市	
E.群馬県前橋市	
F.神奈川県川崎市・箱根町	
G.静岡県伊豆エリア	
H.静岡県静岡市	
I.三重県菰野町	
J.三重県志摩地域	
K.大津・比叡山	
L.京都府南山城村	
M.京丹後地域	
N.兵庫県神戸市	
O.山陰エリア（島根・鳥取）	
P.島根県大田市	
Q.広島県庄原市	
R.瀬戸内エリア	
S.沖縄県八重山地域	

九州における広域MaaS推進事業

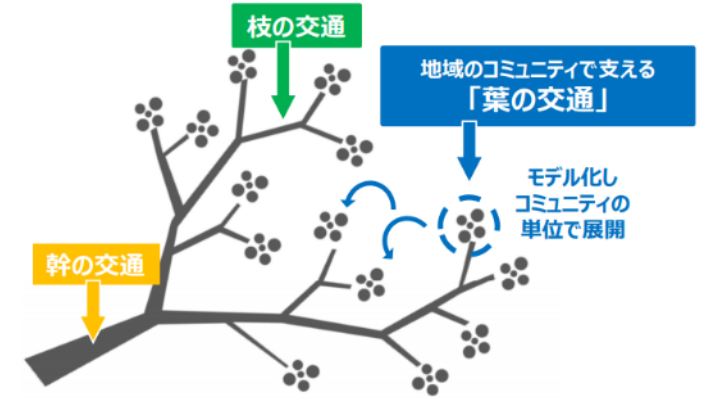
- 九州各地のMaaS実行組織を通じて実施したMaaSアプリ“my route”による展開を、未導入の各県を中心に面的に九州全域に整備する。
- 交通事業者、官民、幅広いプレイヤーによる共創で、持続可能な地域交通ネットワークづくり、観光の魅力・競争力向上に活用する。
- 併せて九州が一体となった運営組織を設立し、MaaSの社会実装・持続可能なスキームの構築を進める。

協議会の構成員	【幹事】九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、第一交通産業(株)、全日本空輸(株)、トヨタファイナンシャルサービス(株)、(一社)九州経済連合会、(一社)九州観光機構 各地に設置済の官民連携MaaS実行組織(福岡県糸島・宮崎県・佐賀県・大分県・長崎県・熊本県水俣市 他)(今後各地に設置する実行組織も随時参画)	
地域課題	● 少子高齢化、人口減少に加えコロナ禍による厳しい交通事業者の経営環境下での、持続可能な地域交通ネットワークの構築 ● ポストコロナを見据えた観光の競争力向上 ● MaaSアプリ・PFを通じた利用実績データの取得・幅広い利活用と、MaaSの持続可能な運営スキームの構築 など	
事業概要	サービス開始時期	2022年度夏 長崎県スタート 2022年度秋 熊本県スタート 2022年度冬 鹿児島県スタート ※並行し既存展開地域でも面的な展開、高度なサービス展開を推進
	エリア	九州・沖縄各県(長崎・熊本・鹿児島は新規展開)
	MaaSシステム	my route(トヨタグループが提供するMaaSアプリ)
	交通サービス	● 同一のMaaSアプリ・PFを活用したシームレスなサービス ● 九州を一つのアプリ(ワンストップ)で網羅 ● 交通事業者をまたいで利用可能なデジタルチケットの設定 ● アプリによる多様なモビリティ利用 ● 新たな需要創出を目指した観光・商業など地域コンテンツとの連携 (観光施設入場券や特典、商業施設クーポンなど) ● デジタルチケットQRコード判定によるUI向上と利用データ収集
	交通以外のサービス	● 商業施設・観光施設クーポン提供・販売 (交通チケットとのパッケージ販売等) ● 観光・イベント情報提供 ● 行政情報の提供 ● 交通事業者の連携と観光・行政などの連携 ● 地域一体となった観光客を迎える体制づくりと競争力の向上 ● 観光と地域「皆が支える」モビリティ・MaaSづくり ● MaaSの社会実装の推進と持続可能なスキームの構築

■国の交通政策の方向性

アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会の 提言

MaaSなど最新技術の活用と
「官民の共創」+「交通事業者相互間の共創」+「他分野を含めた共創」で
地域交通を持続可能な形で「リ・デザイン」することを目指す



提言の概要

1. はじめに

- 人口減少、輸送需要の減少の継続等により交通崩壊の懸念。一方、最新のデジタル技術やデータの効果的な活用による効率性・利便性の向上が期待されるほか、地域づくりにおける交通の価値を共有し、相互に能動的でイノベティブな連携、すなわち「共創」の取組の芽が出始めている。

2. 基本的考え方

- 「共創」により地域交通の確保に取り組む場合には、現行の補助制度と比べてより持続可能で実効性ある支援措置を講ずるべき。

3. 具体的な検討の方向性

- (1) **官と民の共創**：意欲的な地域に対するエリア一括で複数年化された支援制度の創設
- (2) **交通事業者間の共創**：事業者や交通モードの垣根を越えて「共創」を進めるための環境整備に対する支援
- (3) **他分野を含めた共創**：地域のくらしのための交通のプロジェクトや人材育成に対する支援の強化

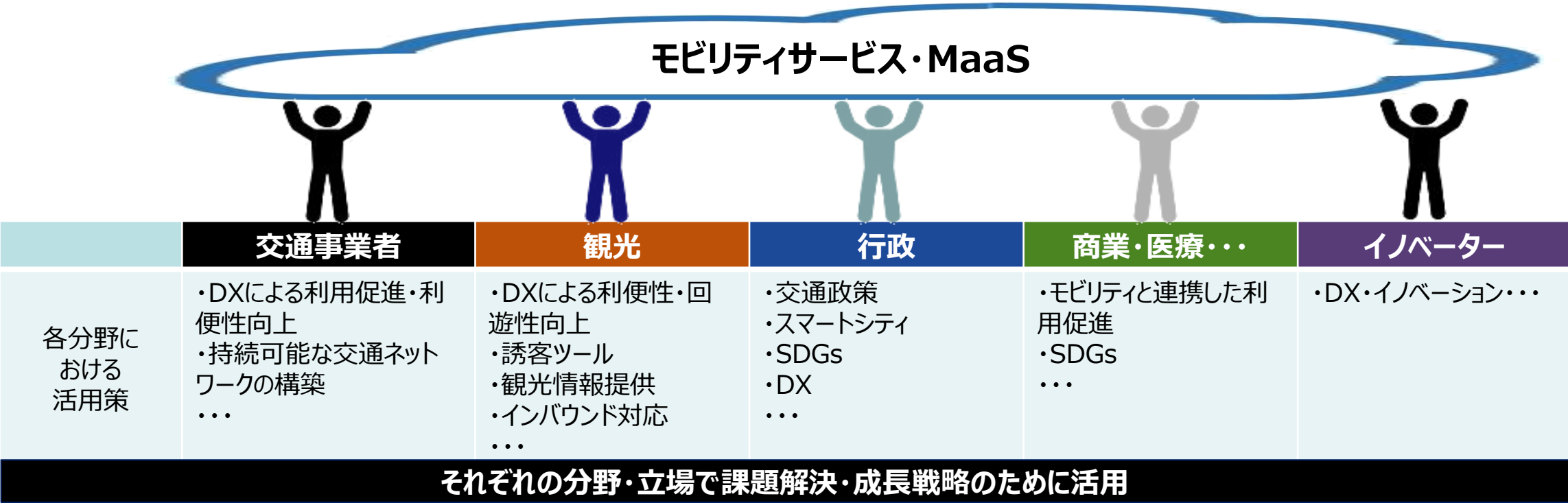
4. まとめ

- 地域交通を単純に延命するだけでは、全国各地で明るい未来を展望することは困難。本検討会における議論に加え、我が国として推進している技術や投資も取り込んで地域交通をより良くしていくという視点が重要。具体的には、自動運転やMaaSなどの「**交通DX**」、車両の電動化や再エネ地産地消などの「**交通GX**」、そして「**3つの共創**」により、利便性・持続可能性・生産性が向上する形に地域交通を「リ・デザイン」し、地域のモビリティを確保するというコンセプトの下でさらに議論を深化させていくことが必要。

■持続可能なスキーム構築の必要性

- 数多くの交通事業者、交通政策、観光振興・・・様々な要素が関連。
- 交通事業者が担う役割は大きい、もはや1社単独の取り組みではない。
- 「イニシアルだけ行政が補助。あとは交通事業者で・・・」という形ではない新たなスキームが必要。

「展開・維持・開発を続けるためのリソース(=ヒト・モノ・カネ)」をどう確保するか。
「一緒に活用、一緒に支える」持続可能なスキームが必要



研究会の構成

- 座 長 九州経済連合会:中川 観光社会基盤部長
- 副座長 宮崎県 :佐野 総合政策部 総合交通課長 ※九州創生アクションプランにおけるMaaS幹事県
九州産交バス :宮田 営業本部長 ※MaaS導入に積極的+共同経営にも取り組んでいる

■委員(31団体・48者)

	山口(下関)	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
県	交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
政令市	福岡市・北九州市・熊本市の交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
鉄道		九州旅客鉄道 西日本鉄道		長崎電気軌道		熊本電気鉄道			
バス	サンデン交通	西日本鉄道 JR九州バス	昭和自動車 祐徳自動車	長崎自動車 西肥自動車	大分交通 大分バス	九州産交バス 熊本電気鉄道	宮崎交通	いわさきコ 南国交通	(第一交通産業)
タクシー		第一交通産業				TaKuRoo			
団体	九州経済連合会、九州観光機構								

■オブザーバー(9者)

- 【行政】九州運輸局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州地方環境事務所
- 【業界】九州鉄道協会、九州バス協会、九州乗用自動車協会、福岡県タクシー協会、日本旅行業協会、

■アドバイザー (株)MaaS Tech Japan代表(JCoMaaS 理事)日高 洋祐氏

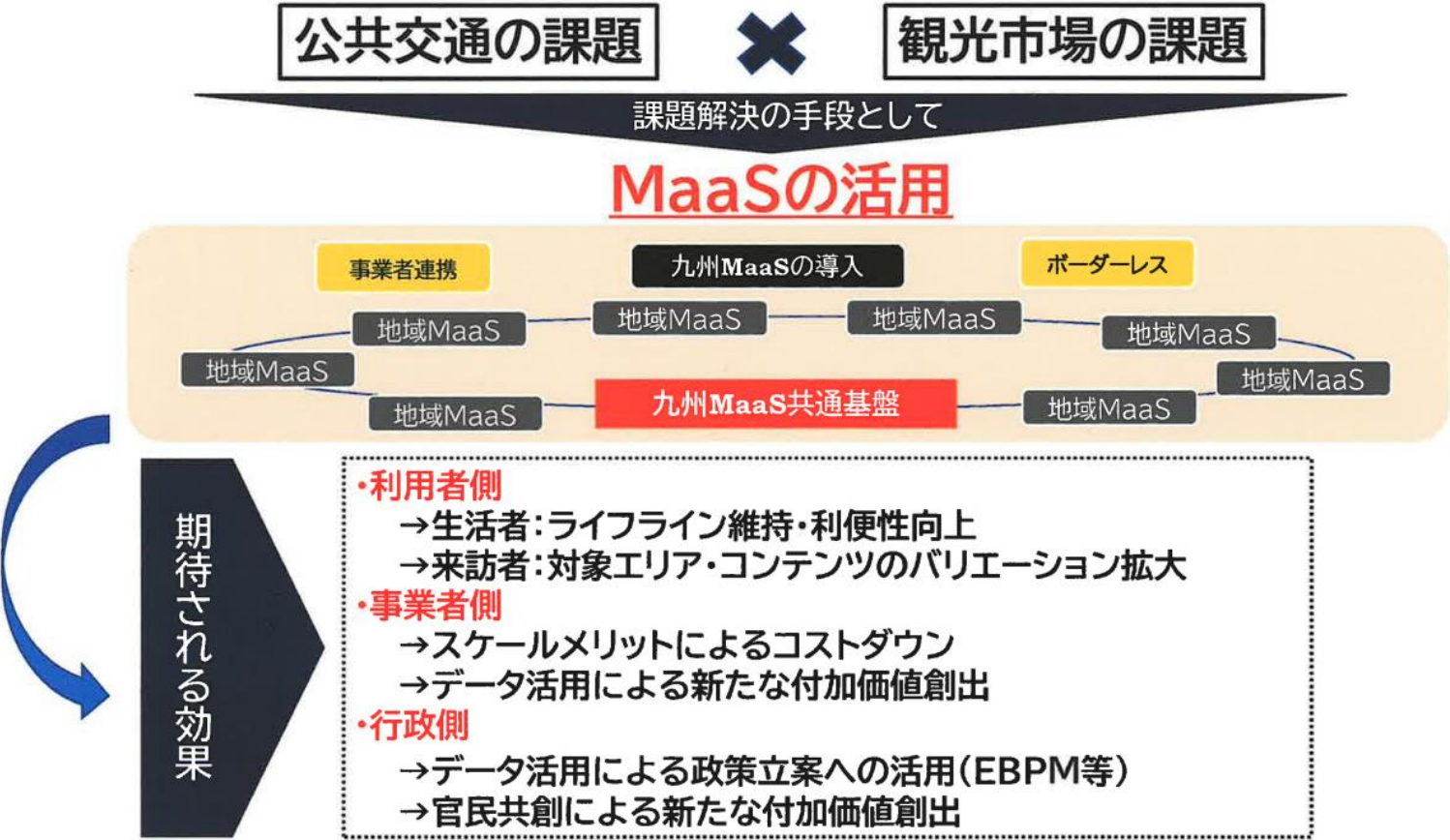
■事務局 九州経済連合会、九州観光機構、九州旅客鉄道、西日本鉄道

九州MaaS構想の経緯

- | | |
|----------|---|
| 2018年11月 | 西鉄・トヨタによるmy route実証実験開始(福岡) |
| 2019年10月 | <u>西鉄・JR九州連携協定</u> 、my route本格実施(福岡・北九州) |
| 2020年～ | my routeが宮崎、佐賀、由布院、沖縄、富山、横浜などに拡大 |
| 2021年10月 | 西鉄・JR九州・第一交通産業の連携チケット発売 |
| 2021年11月 | 西鉄・JR九州・ <u>九経連</u> 等による「九州MaaS構想」キックオフ会議 |
| 2022年4月 | 同者による連絡会議立ち上げ |
| 2022年6月 | <u>九州地域戦略会議</u> にて九経連倉富会長が九州MaaS構築を目指す研究会の立ち上げを提案し了承を得る |
| 2022年8/8 | 第1回九州MaaSプロジェクト研究会開催 |

■九州MaaSプロジェクト研究会

- 九州経済連合会の主催する「九州MaaSプロジェクト研究会」へ委員および事務局として参画。
- 九州広域でのMaaS推進体制構築を目指している。



MaaSの拡張により、地域課題を順次解決することを目指す

まとめ

目指すべきは「輸送サービスの連携」による利便性・持続可能性の向上

連携のきっかけは「MaaS」の検討

しかし、本来目指すべきは、連携による利便性と持続可能性の向上。「MaaS」はその一手段に過ぎない。

「輸送サービス連携」を契機に、両社の連携の輪が広がる

輸送サービス連携の開始から、いろいろな分野での連携も進む

地域交通ネットワークの利便性・持続可能性に向けた取り組みを推進

長崎・熊本のバスの共同経営など、九州各地でモビリティの先進的な取り組みが進む。

九州各地の事業者との連携の輪も広げ、九州の交通ネットワークの利便性と持続可能性の向上に貢献していきたい。

ありがとうございました。

